



親子で考えよう情報モラル

富山市教育センター

情報モラルとは、情報社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度のことです。「ネットワーク上のルールやマナー」「個人情報の保護」「人権侵害」「著作権等に対する対応」等について、話し合ってみましょう。

ポイント1 大人が子どもと一緒に考える

日ごろから、学校や家庭で大人が関わり、子どもと一緒にインターネットにつながるパソコンやタブレット、ゲーム機の使い方や注意点について一緒に考えていくことが大切です。

ポイント2 子どもに迫るネットトラブルについて知る

・書き込みやメール等でのコミュニケーショントラブル

悪口、嫌がらせメッセージ、噂話や話し言葉による誤解からトラブルが起こることがあります。

・個人情報の流出トラブル

ネットゲーム等のチャット機能の会話から個人情報を流出させてしまい、流出した個人情報が勝手に使われる被害が発生しています。

・ネット依存

インターネット利用が日常化すると、やめ時をコントロールできなくなることがあります。

上記は一例です。下部で紹介しておりますサイトをご活用ください。

ポイント3 ルールを決める

- ・困った時はすぐ大人に相談する
- ・個人情報を不用意に公開しない
- ・パスワードは誰にも教えない
- ・誹謗中傷を書き込まない
- ・インターネット上に情報を公開する場合は、よく考えてから公開する
- ・インターネット上の画像は勝手に転用しない 等

本人にそのつもりがなくても、被害者にも加害者にもなる可能性があります。そうしたトラブルから子どもを守るためにルールやマナーと一緒に考えましょう。

情報モラルを親子で考える時に参考になるサイトを紹介します。

文部科学省「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」

政府広報オンライン
「児童・青少年の健全育成」

Japet & CEC
「ネット社会の歩き方」



※QRコードをクリックすることで開くこともできます。